

科目名	薬理学概論	担当教員	森 満 ※印は実務経験のある教員を示す。
-----	-------	------	-------------------------

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
理学療法学専攻 作業療法学専攻	専門基礎科目	必修	2年次	後期	1単位	講義
ナンバリングコード	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
HR23CD	②、③					

科目概要	薬理作用を理解するため生物学的な基礎知識の習得に重点を置き、分子、細胞、個体レベルで薬理作用のメカニズムを理解し、生体内における薬物の吸収、分布、代謝、排泄の薬理動態を学ぶ。
学習目標	基本原理、分子機構、細胞応答、実験方法、吸収と分布、薬物代謝、アセチルコリン、ノルアドレナリン、プリン類、心臓、血管系、動脈硬化、腎尿路系、消化管、血糖と糖尿病治療、生殖系、骨代謝、中枢神経系、鎮痛薬、抗不安薬、催眠薬、化学療法、抗菌薬、抗ウイルス薬などについて説明できる。

回	項目	主な学習内容	到達目標	実務経験 教員担当 項目
1	基本原理、分子機構など	基本原理、分子機構、細胞応答、細胞増殖、アポトーシス、宿主防御、など	基本原理、分子機構、細胞応答などについて説明できる。	
2	実験方法、吸収と分布など	実験方法、吸収と分布、薬物代謝、個体差、ケミカルメディエーター、自律神経系、など	実験方法、吸収と分布、薬物代謝などについて説明できる。	
3	アセチルコリン、ノルアドレナリンなど	アセチルコリン、ノルアドレナリン、プリン類、局所ホルモン、カンナビノイド、一酸化窒素、など	アセチルコリン、ノルアドレナリン、プリン類などについて説明できる。	
4	心臓、血管系など	心臓、血管系、動脈硬化、止血と血栓症、造血機構、抗炎症薬、免疫抑制薬、など	心臓、血管系、動脈硬化などについて説明できる。	
5	腎尿路系、消化管など	腎尿路系、消化管、血糖と糖尿病治療、肥満、下垂体、副腎皮質、甲状腺、など	腎尿路系、消化管、血糖と糖尿病治療などについて説明できる。	
6	生殖系、骨代謝など	生殖系、骨代謝、中枢神経系、アミノ酸伝達物質、神経変性疾患、全身麻酔薬、など	生殖系、骨代謝、中枢神経系などについて説明できる。	
7	鎮痛薬、抗不安薬など	鎮痛薬、抗不安薬、催眠薬、抗てんかん薬、抗精神病薬、抗うつ薬、薬物依存、乱用など	鎮痛薬、抗不安薬、催眠薬などについて説明できる。	
8	化学療法、抗菌薬など	化学療法、抗菌薬、抗ウイルス薬、抗がん剤、スポーツにおける薬物、遺伝子治療、など	化学療法、抗菌薬、抗ウイルス薬などについて説明できる。	
評価方法		筆記試験（穴埋め問題約 75%、国家試験形式の多肢選択問題約 25%、合計 100%）		
課題に対するフィードバック		各回とも講義内容に関する問題集を配布する。その中には、関連する穴埋め問題と国家試験形式の多肢選択問題が含まれている。講義を受講して問題集に解答すること。試験日までに問題集の正解を配布するので、自分の解答を確認すること。試験によって、講義内容の理解度を判定する。		
教科図書		毎回、講義資料と問題集を配布する。		
参考図書		渡邊直樹・監訳『ラング・デール薬理学 原書 8 版』丸善出版、2018 年		
学習の準備		（予習）1 年次に勉強した解剖学、生理学の復習をしておく（90 分）。 （復習）講義で配布した資料と問題集を復習する（90 分）。		
オフィスアワー		木曜日午前 9 時～午前 11 時、その他、在室時はいつでも可能		
担当教員欄に※印を付した教員の実務経験				